



2019年7月12日

各 位

会 社 名 塩 野 義 製 薬 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 手 代 木 功
(コード番号 4507 東証第一部)
問 合 せ 先 広 報 部 長 京 川 吉 正
TEL (06) 6209-7885

**1日1回投与2剤配合錠 Dovato® (ドルテグラビルおよびラミブジン) の
テノホビル・アラフェナミド・フマル酸塩 (TAF) ベースのレジメンからの
切り替えにおける第Ⅲ相臨床試験 (TANGO 試験) の良好な結果について
— 主要評価項目を達成 —**

塩野義製薬株式会社 (本社：大阪府中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」) は、当社が GlaxoSmithKline plc.および Pfizer Inc.とともに資本参加している ViiV Healthcare Ltd. (本社：英国ロンドン、Chief Executive Officer：Deborah Waterhouse、以下「ViiV 社」) が、以下の TANGO 試験において、主要評価項目を達成したことを発表しましたのでお知らせいたします。

TANGO 試験は、テノホビル・アラフェナミド・フマル酸塩 (TAF) を含む 3 剤以上の治療レジメンで 6 ヶ月以上のウイルス抑制が確認されている成人 HIV-1 感染患者が、Dovato® (ドルテグラビルおよびラミブジンの 2 剤レジメン) に切り替え、TAF を含む 3 剤併用療法を継続する場合を対照群として、48 週時点のウイルス抑制維持に関して非劣性検証を目的とした第Ⅲ相臨床試験です。本内容は、ViiV 社より 2019 年 7 月 10 日に公表*されています。

本試験の主要評価項目は、第 48 週のウイルス学的失敗基準に合致する参加者の割合です。結果の詳細は、2019 年 7 月 21 日～24 日にメキシコシティで開催予定の第 10 回国際エイズ学会 HIV 基礎研究・治療・予防会議 (IAS2019) にて、ViiV 社より発表予定です。

なお、本件が 2020 年 3 月期の業績に与える影響は軽微です。

以 上

* ご参考：[ViiV 社リリース](#)